

結成 40 周年を迎えて

理事長　岡田　新一

山形県労働者福祉協議会は、1976 年 3 月に結成以来、40 年の歴史を歩んできました。40 年という長い歴史を支えて頂きました加盟団体・友好団体の皆様のご理解とご協力に感謝申し上げます。同時にまた、諸先輩の皆様のご尽力に感謝を申し上げます。

今日的な情勢として、少子高齢化を伴う人口減少の加速化をはじめ不安定雇用としての非正規労働者の増加、さらには、あらゆる格差拡大と貧困の増大などが挙げられます。

今日、山形県労福協が取り組んでいる主な課題として、(1)『生活あんしんネットやまがた事業』として、毎年 500 件前後の相談が寄せられる「生活なんでも相談」、「くらしの相談活動」、「無料職業紹介事業」、(2)『総合的就業・生活支援事業』として、毎年 600 件ほど相談が寄せられる「県求職者総合支援センターの相談活動」、(3)『教育・文化、交流事業』として、高校生を対象とした「労働教育支援事業」、来年 70 回目を迎える「勤労者体育祭県大会」、今年 5 回目となる「山形大学寄付講座」への参加、(4) 今年 4 月から実施している「山形県生活困窮者家計相談支援事業」、(5) 政策・制度要求として「県への要請と懇談会の開催」、社会問題化している奨学金ローン返済問題についての「給付型奨学金制度創設と教育費の負担軽減を求める取り組み」など多岐にわたる取り組みを行っています。

とりわけ、「奨学金問題」については、貧困の連鎖を断ち、教育の機会均等を実現するとともに、「持続可能な社会」に向けて、未来を担う若者を社会全体で支えるための、早急な「給付型の奨学金制度の創設」が必要です。

改めて、「持続可能な社会」に向けて、勤労者の新たな「生活安全保障策」が求められており、労福協運動の社会的・歴史的役割としての「共助と連帶」の運動は重要となっています。

40 周年を契機に、労福協の歴史に学び、労福協運動の限りなき前進に向けて取り組んで行こうではありませんか。

結成までの歴史と40年の歩み

●結成までの歴史

1945. 8 第二次世界大戦、日本の降伏で終結
1946. 8 「日本労働組合総同盟」結成
10 「日本国憲法」成立
1948. 7 「消費生活協同組合法」成立
1950. 7 「日本労働組合総評議会」結成
9 「労働組合福祉対策中央協議会」発足（現・中央労福協）
1951. 8 山形県労働組合評議会結成
11 置賜労働者信用協同組合設立準備会結成（労働金庫）
1952. 11 山形県労働金庫創立
1953. 5 山形県労働組合福祉対策協議会発足（県福団協）
1957. 6 山形労済準備会創立総会（全労済）
1958. 3 山形県生活協同組合連合会発足（県生協連）
7 山形県労働福祉事業団体協議会発足（県福団協）
1965. 2 全日本労働総同盟山形地方同盟結成（地方同盟）
1967. 8 山形県労働者住宅生活協同組合創立（住宅生協）
1970. 8 （財）山形県労働者信用基金協会設立許可（労信協）
10 （財）山形県労働者信用基金協会事業開始（労信協）
1972. 11 山形県労働者福祉センター落成（福祉センター）

●40年の歩み

1976. 3 山形県労働者福祉協議会結成
10 酒田大火発生、全労済の給付・労働金庫の特別融資実施
11 全労済山形本部発足（全国統合）
1977. 10 西置賜地区労福協結成
1978. 5 全労済会館落成
1979. 5 最上地区労福協結成
10 鮫石地区労福協結成
12 （財）山形県労働者福祉基金協会設立（福祉基金）
1981. 5 米沢地区労福協結成
1986. 11 北村山地区労福協結成
1987. 6 上山地区労福協結成
1988. 4 西村山地区労福協結成
12 山形地区労福協結成
1989. 4 天童地区労福協結成
12 日本労働組合総連合会山形県連合会結成（連合山形）
1992. 11 「ふれ愛募金会・ふれ愛預金」創設（労働金庫）
1993. 11 （財）山形県勤労者育成教育基金協会設立（教育基金）
「ふるさと奨学ローン」スタート（労働金庫）
1995. 1 阪神淡路大震災発生、全国の生協・労金・全労済・労働組合の支援
1996. 7 県労福協「結成20周年記念の集い」開催
1997. 日産生命、三洋証券、拓銀、山一證券、徳陽シティー銀経営破綻
10 第50回記念勤労者体育祭県大会開催
2000. 4 介護保険制度スタート
2001. 9 アメリカ同時テロ発生
2003. 10 東北6労働金庫統合・東北労働金庫誕生（労働金庫）
11 全労済山形本部会館落成（全労済）
2004. 5 県労福協「ホームページ」開設
2005. 8 大手門パルズ建設の地鎮祭
8 （財）山形県労働者福祉基金協会解散
2006. 6 「クレ・サラ高金利引き下げ運動」展開
10 新会館「大手門パルズ」完成
11 東置賜地区労福協結成
12 「貸金業法等改正」国会可決（2010.6完全施行）
2007. 5 県労福協「結成30周年記念の集い」開催
11 「割賦販売法改正」を求める請願署名活動展開
2008. 4 県労福協「社団法人」設立許可
12 厚生労働省より許可を受け「ろうふく無料職業紹介所」開所
2009. 1 米大統領にオバマ氏就任
2 山形県政初の女性知事に「吉村美栄子」氏就任
2 田川地区労福協結成（県内全地区結成）
5 「生活あんしんネットやまがた事業」（生活なんでも相談）開始
7 山形県より「生活あんしんネットやまがた事業」（山形版LSC）を受託
9 民主党政権誕生
2010. 11 「山形県と県労福協の懇談会」を開催
2011. 3 3.11東日本大震災発生
2012. 「2012国際協同組合年」事業の展開
4 県労福協「一般社団法人」へ移行
4 山形県より「総合的就業・生活支援事業」を受託、「山形県求職者総合支援センター」を運営
10 山形大学人文学部「寄付講座」開始
11 山形県より「労働教育支援事業」を受託
12 自民党政権発足
2013. 7 「トータルジョブサポート山形」開所
10 （財）山形県労働者信用基金協会解散
2015. 3 「やまがた出会いサポートセンター」運営団体として参画
9 「奨学生問題」解決に向けた請願署名活動展開
2016. 2 山形県労働者住宅生活協同組合が破産
4 山形県より「生活困窮者家計相談支援事業」を受託
10 県労福協「結成40周年記念の集い」開催

山形県労働者福祉協議会 結成40周年記念の集い

記念講演会

講師 日本女子大学名誉教授 高木郁朗 氏

演題 労働者自主福祉運動が日本を救う －労福協運動の新しい役割－



講師の高木郁朗氏



講演会場の様子

記念の集い

1. 開会の挨拶



大泉敏男 副理事長

2. 主催者挨拶



岡田新一 理事長

3. 来賓祝辞



労働者福祉中央協議会 事務局長 花井圭子 様



山形県商工労働観光部 次長 清野一晴 様



山形市 副市長 斎藤順治 様



労働者福祉北部協議会 会長 内村隆志 様

4. 山形県労福協 40年の歩み



鈴木正弘 専務理事

5. 乾杯



山形県労福協 初代会長 佐藤謙 様

6. アトラクション



むらやま徳内ばやし「山形MIM」様

7. 中締



熊澤年啓 副理事長



レセプション会場の様子1



レセプション会場の様子2